

製品名: SRY ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18293**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	SRY
別名	SRY; TDF; Sex-determining region Y protein; Testis-determining factor
遺伝子 ID	6736.0
SwissProt ID	Q05066
免疫原	抗血清はヒト SRY 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 51-100

背景

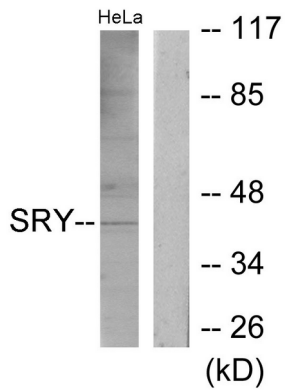
このイントロンのない遺伝子は、DNA 結合タンパク質の高移動度グループ（HMG）ボックスファミリーに属する転写因子をコードする。このタンパク質は精巣決定因子（TDF）であり、男性の性決定を誘導する。この遺伝子の変異は、性腺形成不全（スワイヤー症

候群)を伴うXY女性を引き起こす。また、この遺伝子を含むY染色体の一部がX染色体へ転座すると、XX男性症候群を引き起こす。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患: SRY遺伝子の欠陥は、性腺形成不全XY女性型(GDXY) [MIM:306100]の原因となる。これは「XY女性」またはスワイヤー症候群としても知られる。患者は46,XY核型を示す。これらの患者は性腺が急速に早期に退化しますが、成人になると性腺は「条線性腺」として存在し、主に線維組織とさまざまな量の卵巣間質から構成されます。その結果、これらの患者は思春期に二次性徴を発現しません。これらの患者の外性器は完全に女性であり、ミューラー管構造は正常です。対照的に、46,XY部分性腺形成不全の患者は、性器が不明瞭で、ミューラー管構造とウォルフ管構造が混在し、性腺の形成不全を示します。、疾患: SRYの欠陥は真性半陰陽の原因です[MIM:235600]。真性半陰陽者は、成熟した卵巣組織と成熟した精巣組織の両方を持ち、それぞれ卵巣と尿管の組織学的証拠がなければなりません。これは遺伝的に異なる状態です。罹患個体の大部分の遺伝子型は46,XXですが、46,XYまたは46,XX/46,XYのモザイクを有する個体も少なくありません。真性両性具有は染色体転座によっても引き起こされることがあります。、疾患: SRY遺伝子の異常はターナー症候群に認められます。ターナー症候群は、性腺形成不全を特徴とする疾患で、低身長、条線状性腺、頸部翼状化、外反肘、心臓欠損、後頭部の毛髪生え際低下などの様々な異常を伴います。表現型は女性です。ターナー症候群は45,X染色体異常を基礎としています。、機能: 男性発生における遺伝子スイッチを制御する転写調節因子。これは、支持細胞前駆細胞(プレセルトリ細胞)を顆粒膜細胞ではなくセルトリ細胞として発達させることで、男性の性決定を開始するために必要かつ十分な役割を果たします(類似性による)。成人男性脳において、ドーパミン作動性ニューロンの運動機能の維持に関与する(類似性による)。プロモーター活性化や抑制を含む遺伝子調節のさまざまな側面に関与する(類似性による)。DNAの曲げを促進する。SRY HMGボックスは、副溝に部分的挿入することでDNAを認識する。また、pre-mRNAスプライシングにも関与する。DNAコンセンサス配列5'-[AT]AACAA[AT]-3'に結合します。、その他: ヒトとマウスのSRYのHMGドメインのDNA結合および曲げ特性は互いに異なります。ヒトSRYはマウスSRYよりもDNAとの副溝接触が広く、配列認識の特異性が低い。、オンライン情報: SRYエントリ,オンライン情報: 性の希薄な性質 - 2007年3月号第80号,PTM: PKAによってセリン残基がリン酸化される。PKAによるリン酸化はDNA結合活性を高め、転写抑制を刺激する。Lys-136のアセチル化は核局在に寄与し、KPNB1との相互作用を強化する。HDAC3によって脱アセチル化される。PARP1によってポリADPリボシル化される。ADPリボシル化はDNA結合活性を低下させる。、類似性:SRYファミリーに属します。、類似性:1つのHMGボックスDNA結合ドメインを含みます。、細胞内局在:スペクルにおいてSOX6と共局在します。核内でCAMLと共局在します。核内でZNF208アイソフォームKRAB-Oおよびチロシン水酸化酵素(TH)と共局在します。、サブユニット:CALM、EP300、HDAC3、KPNB1、ZNF208アイソフォームKRAB-O、PARP1、SLC9A3R2およびWT1と相互作用します。EP300との相互作用はDNA結合活性を調節します。KPNB1との相互作用は、GTP結合型のRanによる解離に敏感である(類似性による)。PARP1との相互作用は、そのDNA結合活性を阻害した。

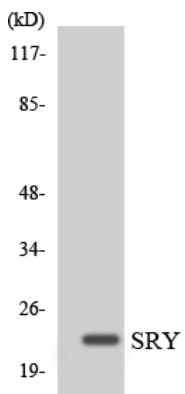
研究分野

ヒストン、HMG、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、ドメインファミリー、HMGボックス、性別決定、発生生物学、生殖、胎盤発達、転写因子

画像データ



SRY抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SRY抗体を使用した K562 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。